

水道 News 現場レポート9

佐賀県川副町 ”非開削工法でエスロハイパーJW200Aを布設！”

佐賀東部水道企業団様にポリエチレン管の特性をご理解、ご採用いただきました。

<内容> 佐賀県川副町で、非開削(テラジェット)工法による工事を実施。
管接合にバット融着を適用,最大 200m / スパン
(87.5m, 202.5m, 150.0m)の施工を行いました。



バット接合は、EFソケットによる接合に比べ、
厳密な施工管理が必要。仮設テントを用いて、
風雨の影響を防ぐ。



バット接合部。
接合作業は専門の技術員が担当して
実施している。



接合した管は、交通の障害となるため、一旦
水路に浮かべて、仮置きした。
クレーンを用いて、水路に浮かべていく。



ポリエチレン管は、軽く水面に浮かんでいる。
管端は、水が入らないよう、SPキャップを
接合した。



推進工事直前、管を水路からクレーンで吊り
上げ、発進立坑まで移動させた。



立坑に、管が大きくなりながら、引き込まれて
いく。長尺化することにより、ポリエチレン管の
柔軟性が際だつ。



油圧ユニットにより、管が順調に引き込まれていく。



管の先端が、反対側の立坑に到達。
管表面に、大きな傷もなく無事推進工事を完了した。

**無事工事が完了。
佐賀東部水道企業団様並びに、ご協力いただいた工事
関係者の皆様、ありがとうございました。**